

第4期 南区地域福祉保健計画

寿東部地区令和6年度 地区別計画振返り会議 次第

日時：令和6年11月27日（水）14時～16時

場所：南社会福祉協議会会議室トモニー（浦舟複合福祉施設8階）

1. 開会あいさつ 地区社会福祉協議会 辻事務局長

2. 本日の会議について 南区役所 尾澤氏
南区社会福祉協議会 齊藤地区担当

資料を基に、区社協担当が下記の説明

 - ・地域福祉保健計画について
 - ・地区別計画振返り会議の開催目的
 - ・本日の会議の流れ他

3. 地区社協の事業計画の確認 地区社会福祉協議会 辻事務局長
 - ・令和6年度の事業計画の確認

4. 第4期寿東部地区別計画の振返り（意見交換）
 - <話し合いをするにあたっての約束事>
 - *今日は、全員発言をして下さい。
 - *他の方が発言した意見は、否定せず聞いて下さい。
 - ①第4期（令和3年度～）の取組状況の振返りと今後に向けて
 - ・配布したアンケート結果に5分程度お目通し下さい。
 - <振返るポイント>
 - ・アンケート結果を踏まえて、考えたことを共有して下さい。
 - ・活動を通じて感じたことなどを共有して下さい。
 - ・活動の中で工夫したこと、苦勞したこと等も共有して下さい。
 - ・現在の活動で力を入れたいこと、今後取り組みたいことはありますか？
 - ②意見の共有
 - ③まとめ 南区社会福祉協議会 若尾事務局長

5. 閉会あいさつ 地区社会福祉協議会 鈴木 富会長

令和6年度事業計画

令和6年度は、第四期南区地域福祉計画・地区別計画の4年目になります。第四期計画推進スローガン「人の輪（和）をつなげるまちづくり」として以下の取組目標を掲げています。

1. 子どもたちが安心して暮らせるまちをつくろう

☆「サンサンデイ」は、子育て中のママたちが悩み孤立しないように、ほっと一息つける安心スペースとしての「サロン」を目指したい。
また、子供を事故から守るパトロール等を通じて、子供たちを守り、外国籍の親子についても対応していきます。

2. まちの情報を共有し、寿東部の魅力を伝えていこう

☆広報誌「えん」の発行、掲示板等による情報の周知、外国籍の人との多分化共生を通じて、一体感を感じられる寿東部地区を目指したい。
そして、地区社協をもっと知ってもらうために、より分かりやすい情報発信をしていきたい。寿東部地区はいろいろな人が増えているのできめ細かに対応したい。

3. 困った時に支え合えるまちをつくろう

☆災害に備えて南吉田小学校での地域拠点訓練は、コロナ前の体制で開催が求められる状況を判断し行いたい。
また、支え合える町づくりを進めたい。皆で知恵を出し合って一つ一つ問題解決の足掛かりを模索したい。

4. 毎日をいきいきと健康に過ごそう

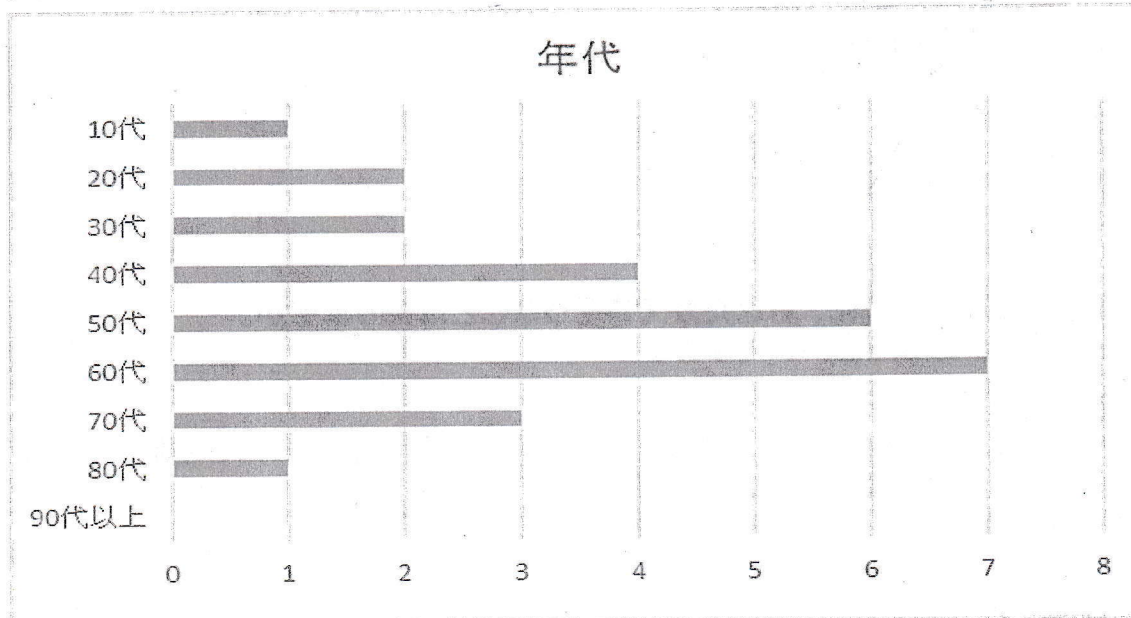
☆保健活動推進委員による健康体操や健康測定、ウォーキング、お達者塾などの開催により、健康づくりを進めたい。また、地域にてラジオ体操など数多くのメニューを用意。体を動かしたいけれどチャンスがない方にも声かけして気軽に楽しい健康づくりを推進していきたい。

アンケート概要版<一般住民向け>

アンケート実施期間:10月1日~10月末

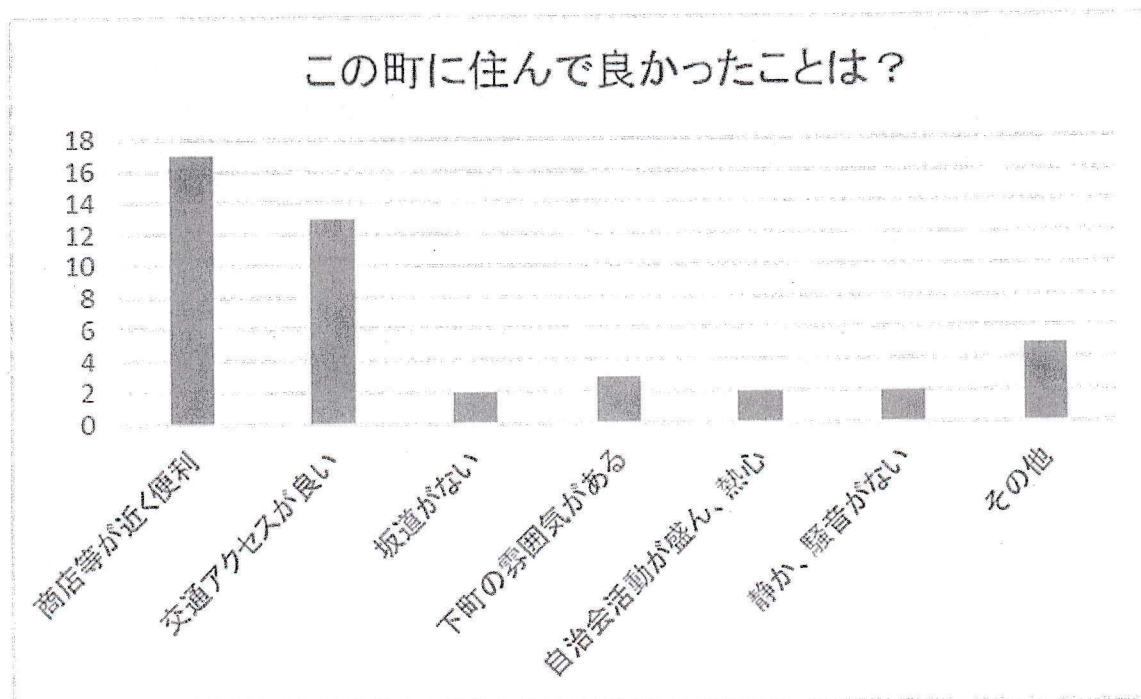
回答者:26名

1. 回答した年代



二次元コードを使用したため、10代や20代の方からのご回答もいただきました。

2. この町で住んでいてよかったと感じることはありますか？ それはどのようなことですか。



自由記載で実施しましたが、おおむねの傾向でまとめてあります。
やはり、「お店がたくさんあり、買い物が便利なこと」「駅が近く、アクセスが良いこと」が多くあげられていましたが、「下町の雰囲気がある」こともあげている方もいらっしゃいました。
その他では、「困った時に助けてもらえる」等のお声もありました。

3. どんな町になったら住みやすいと感じますか

●主なご意見

- ・安心、安全に住める町、治安が良い町
- ・「ありがとう」の言葉があふれる町
- ・困っている人に声を掛け合える町
- ・外国籍の方も含めて挨拶ができる町
- ・マナーやルールを守れる町
- ・衛生的な町
- ・活気がある町
- ・顔見知りな町、仲良しな町

等

4. 3のような町にするために、あなたができそうなことはありますか。またどんなことがあったらいいですか。

●主なご意見

- ・町内で困っている方がいたら、町内会、民生委員へ伝えて、その方を注意している。
- ・知らない人にも積極的にコミュニケーションをとる
- ・迷惑駐車を注意喚起する看板や貼り紙を行う
- ・ゴミ出しのルールを守る、ネットの整備
- ・町内会の行事の継続実施、参加する。

等

5. その他、お気づきのことがありましたら、お知らせください。

●主なご意見

- ・町内会費って何に使われていますか？具体的に知りたいです。
- ・この辺は色々な国の人達が住んでいるので習慣等違うこともあると思うが、日本でのマナーを守って頂きたい。その為には、マンション内の貼り紙や町内の掲示板には日本語だけではなく、多く住んでいる国の方達の言語での情報発信が望まれる。
- ・ゴミ出しのルールを守らない人が多すぎるので、見守り等して改善を願いたい。

等

アンケート概要版<団体向け>

実施期間:令和6年9月~10月23日(水)

回答者:15名

1. 普段どのような活動をしていますか。教えてください。

<町内会活動>

広報紙の作成、役員活動、季節ごとのイベントの計画・実行(バーベキュー大会、町内清掃、敬老祝い品の配布等)、小学校の登下校の見守り、ごみ集積場の清掃・片づけ、防災訓練、防犯パトロール、婦人部、子ども会等

<民生委員・主任児童委員活動>

高齢者宅の訪問、声掛け

<保健活動推進員活動>

健康体操や健康チェック、健康ウォーク、介護予防のための体操 等

<その他>

地区社協役員、花壇管理、関係機関(役所・小学校等)との連携、脳トレ体操、子育てサロン 等

2. どんな町になったら「住みやすい」「嬉しい」と感じますか。

- ・住んでいる町の住民の顔や家族が分かる町、(防犯観念からも)顔の見える町
- ・寿東部全体のまとまりが大事だと思う
- ・「ありがとう」の言葉があふれる町、「あいさつ」ができる町づくり
- ・困っている人に声を掛け合える町、みんなに声掛け、相談、協力、理解ができる町
- ・防災の町
- ・外国籍の比率が高いことがアドバンテージと実感できる町
- ・外国の方々とも交流ができるようになればと思います。
- ・多様性を認め合う町
- ・高齢者が孤独を感じない町
- ・ゴミなどが整理されている町
- ・老若男女問わず、助け合いの心を持っていただけたら嬉しい。

等

3. 2のような地域にするために団体として、できそうなことはありますか。

- ・住民が参加するイベントを定期的に行い、誰でも相談できる場所を作る
- ・寿東部地区全体としての活動を続ける。
- ・町内会行事の継続実施。参加者への声掛けや、参加しやすいような声掛けを行う
- ・相談先が分からない方のために広報紙で取り上げたり、チラシを作成する。
- ・配布物をお届けすることを通じて、困っている方を注意して見守る。
- ・町内の方に「社会福祉協議会」を知ってもらう。
- ・広報活動を続けていく。外国籍の方にもわかるように多言語での周知
- ・地道な挨拶から始まる声掛けからのコミュニケーション作り
- ・地域の核となる学校や他団体との取組と相談を行う
- ・「寿東部地区」の地域福祉保健計画のパンフレットを地域の人々に配布する。

等